

1 2 . 干渉 S A R 研究集会のこれまで

大村 誠 （高知女子大学）

12. A Short History of InSAR Workshop

Makoto OMURA （Kochi Women's University）

E-mail: omura@cc.kochi-wu.ac.jp

InSAR技術研究会の活動

InSAR技術研究会

発端：IGARSS'97（シンガポール）

目的：日本国内でのInSAR研究活性化

特徴：学会横断

連絡：ML・WEBサイト ご協力：アレイ(株)様

活動：JERS-1 SLC の利用

研究集会 ご協力：東大, JAXA, 国土地理院ほか

JERS-1 SAR のデータを活用

Cバンドに比べて，干渉性がよい
樹冠を透過して地表が観測できる

急峻な地形と豊かな植生をもつ日本列島や温帯
～熱帯でのLバンド干渉SARの有効性を指摘

日本の防災・地球科学研究の上で重要な，地
震・火山・地滑り・地盤沈下など，地盤変動の
観測

昭和基地でSARデータが受信され，南極域の研究

(1) 1999/9/8-9

研究集会 「干渉SAR技術の応用とその課題」
平成11年度東京大学地震研究所共同利用研究集会

(2) 2000/9/7-8

Workshop ワークショップ「InSARとその応用」
NASDA EORC

(3) 2001/10/29-30

研究集会 「Lバンド干渉SARの重要性」
平成13年度東京大学地震研究所共同利用研究集会

(4) 2003/3/14

InSAR技術研究会研究集会
国土地理院

(5) 2003/12/19

InSAR技術研究会研究集会
JAXA筑波宇宙センター

(6) 2004/9/29-30

研究集会「干渉SARの展開」
平成16年度東京大学地震研究所共同利用研究集会

今後？？

InSAR 研究集会 の 継続

ALOS PALSAR ほかの 活用

海外の研究者との連携

InSAR技術研究会 の再出発